

H T C

HITACHI TECHNICAL COLLEGE

NEWS ネット

HITACHI
Inspire the Next

日工専同窓会報
2004年12月27日
第9号

技術を正確に理解し その流れをつかめ!

日立コミュニケーションテクノロジー
キャリアネットワーク事業部
事業部長 宮野吉彦



2004年度日工専同窓会本部を戸塚地区が担当するに当たり、一言ご挨拶申し上げます。当事業部は、交換機や光伝送装置、ファックス等の海外展開を経験し技術を培ってきました。今までの貴重な経験を「どうやって生かして

いくか」が重要です。現在、当事業部の狙っているブロードバンドアクセスの普及は、一步一步着実に進み、海外においてもその機運が盛り上がってきたことを直接肌で感じています。今の変化のスピードは、昔では

想像ができないくらい非常に速くなっています。従って、全てを自らでやる必要はないし、現実的に考えて不可能なことだと思えます。どの部分をアウトソーシングするか、企業や大学、様々な人材とのコラボレーションなど、あらゆるものとWin・Winの関係を築くことが重要と考えています。そして、「ものづくり」に必要な不可欠なことは、技術を正確に理解してその方向性を把握し、流れを判断することです。日工専同窓会員のかたは、全国のあらゆる分野で中核となり活躍しておられることと存じます。日立グループの支えとして力強く感じている次第です。皆様には、日立グループ員として全員が、その職位・職場で事業・業務での技術の伝承を図っていただきたいと思えます。日工専と言う共通の価値観を持つ強みを生かし、日工専同窓会の強力なネットワークを生かしながら、さらに各分野・職場でリーダーとしての活躍を期待するものです。

各人の技術力向上に努めよう！ 新入社員にはモノづくり体験を

日立工業専門学院
学院長 石川正幸



03年4月のこの同窓会報で日立のモノづくり力の弱体化に対する危惧について書きました。会員の皆さんには今一度自分の職場の状況を見詰

め直して頂きたいと思えます。

例えば、新人の採用数が少なく、人員が減り続けるため若い人の仕事の中で収支管理とか外注との価格ネゴの比率が高まり、本来の設計業務が外注化されていないでしょうか？結果として自分で作ったことがない、作れない製品・部品を相手の言うなりに近い形で買って、事故が起きても自分で対策出来ずお手上げ、ということが起きていないでしょうか？

トヨタ自動車は多量の半導体を購入しています。トヨタの凄ところは、小さな半導体製造プラントを自ら持ち、半導体技術を身に付けた上で、発注先の半導体メーカーと互角に渡り合っていることです。

会員の皆さんの事業部門が今後規模を縮小するのではないのに、上記の問題があるのなら、上に向かって新

人採用を提言するとともに、自らの技術力向上に努めて下さるようお願いいたします。

モノづくり体験のない新人技術者に対するモノづくり体験教育では少し動きが出て来ました。

(H I C) 土浦では少し前から新人の現場体験実習後2ヵ月半、現場が希望する改善のための治工具などの開発を、自分達で計画・設計・発注および加工伝表作成・組立・調整まで行う実習を行っています。

堀場製作所では03年までシミュレーション技術を新入社員研修でやっていた。しかし、04年からはモノづくり体験研修に切り替えました。

(モノ技修)の工作技能専門研修は元々技能者向けの2ヵ月半の長期研修です。この研修では開発中の設備の要素部分の計画・設計・加工・組立・調整を行う総合実習があります。数年前から日立国際電気から、若手設計者のモノづくり体験にもなる、ということで每期1~2名が受講しています。今期からは日立電線の若手設計者も参加するようになりました。

同じく(モノ技修)の1週間の研修に「モノづくり体験(機械編)」があり、旋盤、フライス盤、ガス切断、溶接を使って作品を2個作っています。05年から日立建機の技術系新入社員全員が受講する計画です。

会員の皆さんの事業所でも、事業所の特性に合った独自の新人モノづくり体験実習を計画して頂けると良いなと思っております。

全国支部長会議開催!

2004.9.11



来賓挨拶 名誉会長
石川学院長



2003 年度会長挨拶
(ソフト)戸嶋氏



司会/進行
(戸塚地区)玉野井氏



来賓挨拶 (日立 COM)
田村部長代理



2003 年度 会計報告
(ソフト)佐藤氏

去る9月11日(土)午後1時30分より、横浜ベイシェラトンホテル会議室で2004年度全国支部長会議が開催されました。当日は、来賓に学院より石川学院長及び橋本部長代理、合田主任、また開催事業所代表として(日立COM)田村総務部長代理の出席を頂きました。会議は、同窓会常任理事2名と全国の支部からは、17支部の出席と41支部の委任状で過半数を得、会は成立、議事は進められました。

審議は、2003年度の活動報告と決算報告が、(ソフト)支部より説明され、次に2004年度の活動方針、予算が戸塚地区支部から提案、審議され満場一致で承認されました。

会議後は、懇親会々場に場を移し出席者の懇親を深め、夕方5時散会致しました。

会議次第、質疑応答の概要は次の通りです。

《式次第》

1. 開会の辞
2. 2003年度会長挨拶
3. 学院長挨拶
4. 来賓挨拶
5. 常任理事挨拶
6. 2003年度活動報告
7. 2003年度会計報告
8. 2003年度役員解任
9. 2004年度会長挨拶
10. 2004年度活動計画
11. 2004年度支部組織改編について
12. 2004年度予算審議
13. 支部長への依頼事項について
14. その他
15. 閉会の辞
〈懇親会〉

《出席支部一覧》

特別会員支部、(日)、(国)、(多)、(電開研)、(水)、(AS)、(つち)、(茂)、(RSD)、(ESD)、(塚)、(生研)、(呉)バブ、(中央商事)、(ソフト)、(日立電線/日高)



来賓挨拶 常任理事
特別会員支部 石原氏



2004 年度会長挨拶
(戸塚地区)名古屋氏



2004 年度 予算提案
(戸塚地区)飯田氏



2004 年度 支部組織改編説明
(戸塚地区)大野氏

《2003年度会計報告》

収入	
項目	実算
繰越金	4,818,352
会費	1,082,400
44期入会金	158,000
特別会員入会	981,000
利息	40
総計	7,039,792

支出	
項目	実算
支部長会議	690,331
会報発行	169,334
事務諸経費	386,218
特別会員支援一時金	397,295
次年度役員立上げ支援金	61,075
予備費	0
次年度繰越金	5,335,539
総計	7,039,792

《2004年度会計予算》

収入	
項目	予算
繰越金	5,335,539
会費	1,300,000
45期入会金	152,000
特別会員入会	300,000
利息	
総計	7,087,539

支出	
項目	予算
支部長会議	1,000,000
会報発行	300,000
事務諸経費	500,000
特別会員活動費	500,000
予備費	100,000
次年度繰越金	4,687,539
総計	7,087,539

《支部の活動紹介を行なう出席代表者》



質疑応答

Q. 今年は45周年にあたり、日工専統合後の過去5年間の記録を整理し、簡単な記念誌のような形で纏めることを提案、進めたいと考える。出来上がりは、次年度に掛かるかもしれないが、如何か。

A. 学院、その他の方々にも負担を掛けることになるが、提案を受け、どのような形が良いか検討していきたい。



質疑応答で提案を述べる浅沼常任理事





フォトコーナー



(京専)跡地に、今マンション建設が進んでいる。まだ整地、基礎工事の段階だが、2006年には、総戸数400戸を抱える建物郡がそびえることになる。懐かしい校舎や寮、養心館やプールなど既に跡形も無い。わずかに敷地奥の雑木林だった山の地形が、昔の建物位置を思い起こさせる。見覚えのある何本かの背の高い樹木は、まだ残っている。これらの幾本かは、敷地内に植替えとなるようだ。広い敷地を活かし遊歩道もできるようで、富士山を望む高台にマンションが建つ頃、また、見に来たいと思う。

(18期電子 渡辺)



2004年度 日工専同窓会本部役員

担当	氏名	事業所	卒科	期
名誉会長	石川正幸	(日工専)学院長	—	—
顧問	稲垣直人	(日) 勤労部	—	—
常任理事	浅沼伴自	—	管理	2
〃	碓 信吾	(日)	機械	6
〃	石原政男	—	金属	2
〃	永瀬嘉重	—	電子	3
〃	森木成美	(情制シ)	電気	16
〃	渡部邦男	(日)	管理	3
会長	名古屋喜則	日立COM	電子	12
副会長	伊藤一夫	日立COM	機械	12
総務	鈴木 正	(湘サ)	管理	27
〃	植田春夫	日立COM	機械	7
広報	渡辺英夫	日立COM	電子	18
〃	平間 勝	日立COM	ソフト	20
〃	上村 修	日立COM	制御	29
〃	濱西宏樹	日立COM	電子	37
行事	玉野井明人	日立COM	電子	22
〃	松村幸四郎	日立COM	機械	19
〃	高野信英	日立COM	電子	24

行事	高橋美德	日立COM	ソフト	26
会計	飯田光明	日立ハイブリッドネットワーク	管理	11
会計	高橋三郎	日立ハイブリッドネットワーク	ソフト	24
〃	古田智彦	日立ハイブリッドネットワーク	システム	34
会計監査	加藤 勉	日立ハイブリッドネットワーク	管理	15
〃	大淵亮二	日立COM	管理	23
会員名簿	大野勝也	日立ハイブリッドネットワーク	電子	25
〃	小杉則貴	日立COM	電子	25

編集後記

本部支部の輪番が回ってきて早半年。ようやく発行の運びとなった。特別会員支部のホームページアドレスを教えてもらったので早速アクセスした。開いた瞬間「この木何の木」のメロディが流れてきたのでびっくり。在職中に退職者の交流の場として特別会員支部の存在をより多くの方に知ってもらいたいと思う。2004年は、イラク問題、豪雨災害、新潟中越地震など多難であった。2005年は、景気の回復する良い年であって欲しいと思う。次回は、春先の発行を目指します。

発行所

日立市西成沢町
日立工業専門学院内
日工専同窓会本部

編集人

広報担当 渡辺英夫

発行人

(日立COM)名古屋喜則

同窓会報は、<http://www.gakuin.hitachi.co.jp/ob/dosokai/> から参照できます。

特別会員支部は、<http://www7a.biglobe.ne.jp/~hts/> です。(2004年12月現在)